

「すごいよ。みんな来て。」と、妹が声をあげた。昨年の夏休み、近所のお祭りから帰ってきた時のことだ。急にだけけ寄ってみると、塀にとまったアブラゼミの終礼幼虫が、今まさに羽化をしているところだった。殻の背中がさげ頭と背中が出てきていた。全体的に白く、所々薄緑色だった。

僕は生まれて初めてゼミの羽化を見た。木の繁った所でないと思われなかった。羽化の家の塀で羽化をしている。駐車場のコンクリートの地面と塀の間に幅十センチメートルほどの土の部分がある。恐ろしく、そのわずかな土の中で幼虫時代を過ごしてきたのだらう。

何故こんな所にいるのかを考えてみた。アブラゼミの卵は約十ヶ月間、樹皮の中で過ごし、その後、幼虫は地中で約五年間を過ごす。卵が産みつけられた時期と、この家が建てられた時期がちょうど重なる。今まで建てられていた場所にいっしょに家が建ち、住宅街になったのだから、ゼミのお母さんはきつとまどったのだらう。住宅街の中の数少ない緑を探し、僕の家の玄関に一本だけある木を頼りに卵を産みつけたのだと思っ。それが幼虫時代に木の根を吸いながら脱皮と移動を繰り返して、いざ成虫になろうと地上へ出てみると、木も草もない塀の横だったのかもしれない。

塀にしがみついたゼミはたくましく懸命に生きようとしていた。力強く反り返り脚が出る。脚が固まるのと起き上がり全身を出す。やがて縮んでいた羽が広がる。すき通るような白色で、美しく、とても神秘的だった。僕たち人間が生きていくためには家が必要だが、同じく、虫や動物たちも生きていく場所が必要だと思っ。先週、父と一緒に家の庭に南天の木を植えた。たった一本の木だけれど、「自然と生き物を大切にする」未来へとつながってほしい。

僕にも出来ることがある

土浦市立下高津小学校 五年 小野真心

WWF **南三陸探検隊新聞** **カスミ**

ネイチャーキッズ特派員
おの まさむね
小里予 真心 2018.7.22 ~ 25
特派員のみな。

12mの貯舎を食欠み込んだ津波。王見はかさ上げ工事を進めている。

防犯対策庁舎

大きな 津波宮を受けけた 魚市場。

今年新しい産肉市場が完成!

今では新しくなった市土着や商店街もにぎわってきた!

オホトス岩

遊ばせろ!

志津川湾

肉厚な 高良タコ

神楽崎

三陸復興国立公園

雷が岩が 寄りかかると、ちよと信じられなくて、村の人たちが伊良波島に逃げたこと。

南三陸町をみんなに知ってほしい。僕は南三陸町に住みたい!!

WWF 日本の皆さん、カスミの皆さん、ピース、オーズ! 海の自然史研究所の皆さん、下道荘の皆さん、ネイチャーキッズ特派員のみな、南三陸町の皆さん、どうもありがとうございました。
小野 真心



「すごいよ。みんな来て。」と、妹が声をあげた。昨年の夏休み、近所のお祭りから帰ってきた時のことだ。急にだけけ寄ってみると、塀にとまったアブラゼミの終礼幼虫が、今まさに羽化をしているところだった。殻の背中がさげ頭と背中が出てきていた。全体的に白く、所々薄緑色だった。

僕は生まれて初めてゼミの羽化を見た。木の繁った所でないと思われなかった。羽化の家の塀で羽化をしている。駐車場のコンクリートの地面と塀の間に幅十センチメートルほどの土の部分がある。恐ろしく、そのわずかな土の中で幼虫時代を過ごしてきたのだらう。

何故こんな所にいるのかを考えてみた。アブラゼミの卵は約十ヶ月間、樹皮の中で過ごし、その後、幼虫は地中で約五年間を過ごす。卵が産みつけられた時期と、この家が建てられた時期がちょうど重なる。今まで建てられていた場所にいっしょに家が建ち、住宅街になったのだから、ゼミのお母さんはきつとまどったのだらう。住宅街の中の数少ない緑を探し、僕の家の玄関に一本だけある木を頼りに卵を産みつけたのだと思っ。それが幼虫時代に木の根を吸いながら脱皮と移動を繰り返して、いざ成虫になろうと地上へ出てみると、木も草もない塀の横だったのかもしれない。

塀にしがみついたゼミはたくましく懸命に生きようとしていた。力強く反り返り脚が出る。脚が固まるのと起き上がり全身を出す。やがて縮んでいた羽が広がる。すき通るような白色で、美しく、とても神秘的だった。僕たち人間が生きていくためには家が必要だが、同じく、虫や動物たちも生きていく場所が必要だと思っ。先週、父と一緒に家の庭に南天の木を植えた。たった一本の木だけれど、「自然と生き物を大切にする」未来へとつながってほしい。

自然と生き物を大切にする未来

柏市立柏第八小学校 六年 石田龍成

南三陸探検隊

柏第八小学校 六年 石田龍成

モアイ像 がある理由
昔ナリで大地震がきて津波が来た。その余波が南三陸に来た。その後、東日本大震災で日本が甚大な被害を受けた時ナリからおびえてきたナリが交流が戻ってきた。

防災庁舎
震災の時、津波のくるギリギリまでサイレンを流して避難を呼びかけた。今は津波で外壁が流され鉄骨インテンが残っている。写真で津波を見たおびえろした。二度とおきないでほしい。

巨石
おれは運れたぞー!! 正直者だー!!

神割崎の由来
横濱の浜に鯨が打ち上げられていて漁夫たちは天からの獲物として喜びを分かちあった。だが、場所は二つの村の境目であった。二つの村は仲良くしていたが、両者一歩も歩かず三日三晩も、すると三日の夜に浜に落雷が降った。朝見に行くと岩が割れていた。それが村の境目になった。

南三陸ベスト3
＜おいしかったごはん＞
1.ウニ 2.タコ 3.タコ
＜たのしかったこと＞
1.キャンプ 2.KUBB 3.BBQ
＜好きな景色＞
1.朝日 19 下道荘の朝日
2.キャンプ場のそばの海 3.田舎の山

まとめと感想
僕は、南三陸に行き、一つ思ったことがあります。それは、震災後、防災意識が高まっていることです。例えば、下道荘は高台に再建しているし、三陸復興国立公園のように土地をかき上げておける場所もあるし、海の防波堤も建てられています。これはこれから先、おびえろさないでほしいという願いが込められているように思っています。このようなことを学ぶことが、僕たちにとって、未来へとつながると思います。

